

は今までとおり教育委員会を通じて健対協へ報告を行って欲しい。

- ・本委員会は心電図判読の委託を受けているために、委員会としては存続する。

これらの協議を受けて、7月27日に市町村教育委員会の担当者会議が開催されるため、県教育委員会から経緯と概要について説明をしていただく。8月末までに各市町村の意向をまとめ、次回の委員会で実施方法を決定することとなった。国立・私立学校については、健康政策課より説明していただく。

また、岡本会長より現在の精密医療機関（3病院）については、医師、機材の派遣、検診に係る費用についてお願いすることとなった。

2. その他

第41回若年者心疾患対策協議会総会について
若年者の心臓疾患における各県の現状と課題等

について、平成20年度（平成21年1月～3月頃開催）、本県において開催することが協議会より鳥取県医師会へ打診があり、理事会において了承された。現在21府県が参画しており、持ち回りで開催されている。

例年、この時期には正式な開催時期や会場、実行委員、プログラムの骨格等について決定していく必要があるため、以下のとおり検討を行った。

会 場：鳥取県民文化会館「小ホール」

次 期：平成21年1月～2月

実行委員：坂本委員長、笠木、瀬口、辻、奈良井、西村、星加、宮崎、吉田泰各委員。県教育委員会 棚田係長、県健康政策課 坂本係長。

近年では心臓疾患だけでなく、児童・生徒の生活習慣病やたばこについての講演もあるようで、教育委員会からも講師を検討していただくこととした。

届出精度のさらなる向上を目指して 平成19年度がん登録対策専門委員会

日 時	平成19年7月26日（木） 午後1時40分～午後3時30分
場 所	鳥取県健康会館 鳥取市戎町
出席者 (25人)	岡本健対協会長、岸本委員長 宮崎・吉中・岩垣・山下・大津・石飛・武田・北窓・国政・藤井秀樹・ 紀川・岡本幹三各委員 県健康政策課：加山主幹、澤田副主幹 健対協事務局：谷口事務局長、田中主事

挨拶（要旨）

岡本会長

岸本委員長を初め、関係者皆様のご協力により、がん登録が充実してきております。また、がん拠

点病院の指定条件として、がん登録に協力することが義務付けられていることもあり、近年、がん登録届出件数が増加し、精度が向上しております。平成19年4月より鳥取大学医学部附属病院においてもがんセンターが設置され、がん登録体制が整

備されました。

今後共、よろしくお願ひ致します。

岸本委員長

平成19年4月より「がん対策基本法」が施行されました。参議院の厚生労働委員会より「がん対策基本法」の付帯決議が発表され、がん登録制度は罹患状況、がん検診の評価等の疫学調査を行う上で、非常に重要である。また、がん医療評価のためにも不可欠なものであるということが謳われています。この委員会を発展させ、県民のがん対策に活用出来るようになっていけばと考えております。

報 告

平成18年度がん登録事業報告：岡本幹三委員

1) 鳥取県における平成15年がん罹患・受療状況 標準集計結果

a) 罹患集計

- (1) 罹患数：がんの全部位では罹患総数3,438件（男1,997、女1,441）、部位別に男では胃＞肺＞前立腺＞結腸＞肝臓の順、女では胃＞結腸＞乳房＞肺＞子宮の順であった（表1）。
年次推移では、男女とも全部位、男では前立腺、肺、女では結腸、子宮、肝臓において

罹患数の増加傾向が観察された。

特に、前立腺癌が急激に増加した。その背景は、高齢化、食生活の欧米化、PSA検査の普及等が考えられるが、はっきりとした原因究明はこれから検討していきたい。

- (2) 粗罹患率：人口10万対562.6（男683.4、女451.9）であった（表1）。
(3) 年齢調整罹患率：人口10万対312.7（男415.9、女239.8）で、総数および男は2001年の全国推計値を上回った（表1）。
(4) 年齢調整罹患率の年次推移（1988 - 2003年）：前年（2002年）に比べて2003年は、男では胃、結腸、肝臓、女では胃、結腸、直腸、肺、乳房で減少傾向が見られた。逆に男の直腸、女の肝臓、子宮では増加傾向が見られた。
(5) 地域別標準化罹患比（全国 = 100）：全県男の結腸と女の乳房が100以下の値を示した。東部では男の、胃、肺、女の肝臓、胃が、中部では男の直腸、肝臓、女の子宮、結腸、直腸が、西部では男女とも全体的に低い罹患比を示した。とくに、女の乳房が中部では70.0、西部では54.4と顕著に低い罹患比を示した。
(6) 年齢階級別罹患率：全体的に年齢とともに増加傾向がみられるが、乳房は50歳代でピークを示し、60歳代以降は70歳代までは急激に

表1 鳥取県における性、主要部位別がん罹患状況 平成15年（2003年）

男	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢・胆管	膵臓	肺	前立腺	膀胱	食道	リンパ腫
罹患数	1,997	437	191	117	153	47	90	323	214	78	69	36
罹患割合(%)	100.0	21.9	9.6	5.9	7.7	2.4	4.5	16.2	10.7	3.9	3.5	1.8
粗罹患率	683.4	149.6	65.4	40.0	52.4	16.1	30.8	110.5	73.2	26.7	23.6	12.3
調整罹患率	415.9	91.9	38.8	27.2	33.7	9.4	18.6	63.6	40.0	15.4	15.0	8.3
全国推定罹患率	380.6	84.5	42.8	25.5	32.3	9.4	13.0	56.6	26.2	13.9	16.0	9.4
女	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢・胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	リンパ腫
罹患数	1,441	240	188	79	90	52	67	136	151	126	43	40
罹患割合(%)	100.0	16.7	13.0	5.5	6.2	3.6	4.6	9.4	10.5	8.7	3.0	2.8
粗罹患率	451.9	75.3	59.0	24.8	28.2	16.3	21.0	42.7	47.4	39.5	13.5	12.5
調整罹患率	239.8	35.2	25.7	13.6	11.6	5.3	8.6	18.8	36.6	35.1	9.2	6.1
全国推定罹患率	247.4	32.8	26.5	12.4	10.9	7.3	7.8	18.6	51.0	31.1	9.2	6.1

* 全国推定罹患率は2001年（2000 - 2002）データを使用

減少し人口10万対95から58まで低下しその後横這い状態を示した。子宮は50歳代でピークを示し、60歳代以降は僅かに減少し横這い状態を示し、80歳以上で人口10万対67から40までに大きく低下した。

乳房と子宮について年齢階級別の罹患構成比を1979 - 83年までと1999 - 03年までの2つの期間に分けて比較すると、乳房では70歳以上の高齢者における罹患割合の増加が顕著であったが、子宮では39歳未満における若年層の増加が顕著であった(図1)。

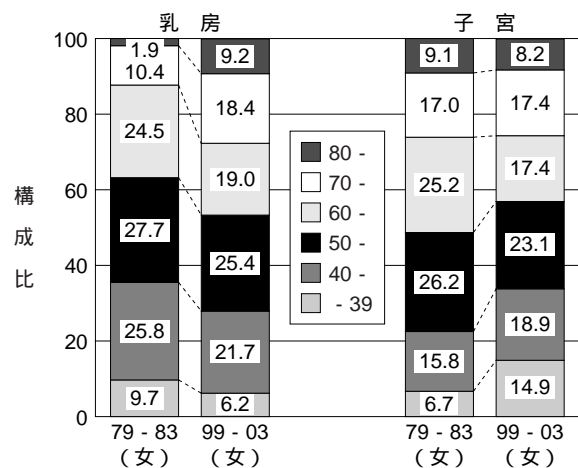


図1 年齢階級別罹患構成比の年次比較

b) 受診動機別集計

全部位で有訴受診が最も多く46.2%、次いで他疾患治療中の15.1%、健康診断(人間ドック等)各種がん検診の順となった。部位別には、乳房、

子宮で有訴受診が半数以上で最も高く、肝臓、肺で他疾患治療中がそれぞれ34.1%、19.9%を観察した(表2)。

表2 部位別・受診動機別集計結果(%) 2006.01.01 - 2006.12.31までの有効届出対象(総数 = 3,037件)

	有訴受診	健康診断	各種がん検診	他疾患治療中	その他	計
全部位	46.2	9.1	5.9	15.1	23.7	100.0
胃	33.0	14.4	7.7	15.4	29.5	100.0
結腸	44.7	9.9	5.9	16.8	22.7	100.0
直腸	58.3	8.6	4.8	9.1	19.3	100.0
肝臓	22.7	3.6	1.4	34.1	38.2	100.0
肺	33.7	12.2	7.1	19.9	27.2	100.0
乳房	68.1	1.9	17.9	3.9	8.2	100.0
子宮	58.9	1.9	8.2	5.7	25.3	100.0

c) 受療集計

全国に比べて鳥取県が高い部位は以下のとおりであった。

- (1) 手術割合: 全部位、胃、結腸、直腸、肝臓、肺、子宮
- (2) 放射線治療: 全部位、直腸、肝臓、肺、乳房

d) がん患者の医療機関からの届出状況

平成18年のがん患者診断票届出総数は3,747件で、前年に比較し457件の増加であった。地域別では東部で1,887件、中部で628件、西部で1,231件、県内不明は1件となり、東部の増加が顕著であっ

た。新規登録件数は、東部で1,347件、中部で501件、西部で945件となり、総数では2,793件となった(表3)。

e) 登録精度

(1) DCN: 届出精度としてのDCNは、平成15年(2003年)は28.3%となり目標値の30%以内となった。なお、部位別には、男女とも造血組織、リンパ組織および胆嚢、膵臓、女では肝臓で高いDCNを示し、40 - 70%の範囲を示した。とくに造血組織は、男で57.5%、女で70.0%と最も高いDCNであった。

表3 主要医療機関、地域別届出件数の年次推移（1992年 - 2006年）

	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
主要病院	1,469	1,360	1,599	1,167	1,329	1,696	1,273	1,385	1,339	1,505	1,786	2,226	2,751	2,392	2,568
大学病院	361	242	261	305	357	215	245	266	233	286	208	375	355	304	419
その他病院・診療所	688	591	621	646	669	493	562	602	440	525	534	459	589	594	759
東部	1,023	933	1,024	764	827	927	780	834	720	965	1,104	1,576	1,867	1,667	1,887
中部	417	339	547	481	486	451	476	462	379	414	523	436	476	513	628
西部	1,078	921	908	871	1,039	1,020	822	947	910	936	896	1,046	1,352	1,110	1,231
県全体	2,518	2,193	2,481	2,118	2,355	2,404	2,080	2,253	2,012	2,316	2,528	3,060	3,695	3,290	3,747
HV / K (%)	鳥取県	53.7	55.7	54.4	47.6	48.6	47.5	46.3	48.3	51.0	54.7	57.9	58.8		
	全国	62.0	62.6	63.1	63.0	66.0	66.9	66.9	67.9	67.9	67.6				
DCN / K (%)	鳥取県	24.5	28.9	27.5	28.2	24.8	31.9	36.5	36.2	36.3	32.9	26.1	28.3		
	全国	23.9	23.3	23.4	24.2	30.3	29.6	28.2	27.6	26.8	26.2				

主要病院：県中、市立、赤十字、岩美、智頭、厚生、国立、労災、博愛、済生会、西伯、日南、日野

(2) I/D比：1.9で全国値（2001年推計値）の1.7を上回る値を示し、罹患推計のための基準の1.5以上を達成している。

(3) 組織診断実施割合：組織診断実施割合は59.2%で前年集計値より約1%の増加がみられた。しかし、この値は従来の全国値66～68%と比較してまだまだ低値で改善の余地がある。

2) 登録精度の向上のための届出勧奨の送付

近年の届出精度の悪化（DCN 30%）に鑑み、登録精度の向上をめざした県内医療機関への届出勧奨を鳥取県健康対策協議会の会長名およびがん登録対策専門委員会委員長名で実施した。

平成14年（2002年）標準集計の登録精度はDCN = 26.1%と飛躍的に改善されたが、さらなる精度向上をめざして平成18年（2006年）度も前年度に引き続き届出勧奨を実施した。

3) 死亡登録システムおよびICD-O-3コード変換システムの構築を行った。

これまで、鳥取県がん登録システムには、死亡票からのがんの記載のある患者の死亡登録とICD-O-3コードについては搭載されていなかった。地域がん登録の標準化に即応すべく今回新たに両システムの導入を行った。

4) 鳥取県がん登録届出記入要領の改正

2006年6月改訂版として、記入要領の改正を行った。「届出票の提出：3.悪性新生物と診断されていた患者が死亡した時」を新たに追加した。

5) 平成18年（2006年）度鳥取県がん登録事業報告書 {平成14年（2002年）集計} の印刷・配布

6) 第15回全国がん登録協議会総会研究会

毎年、全国協議会では総会研究会が開催され、各自治体登録事業主管課を中心に活発な意見交流がなされてきた。平成18年度は、会長：山形県立がん・生活習慣病センターがん対策部 部長 松田 徹先生の主管で、9月1日に山形県庁講堂において開催され、8月31日の実務者研修会と併せて多くの参加者があり成功裡に終わった。メインテーマは「がん対策におけるがん登録の役割」であった。

以下の質問、要望があった。

(1) 肝臓癌の受診動機別集計によるとその他が38.2%であるが、肝炎検査後の定期検査フォローで発見された癌が多く見ついているということなのかという質問があった。「その他」の詳細な調査を行っていないので、今後、問い

合わせを行う必要がある。と同時に、肝臓がん対策専門委員会等を通じて受診動機に関する担当医の記載の周知徹底を図っていくことが提案された。

(2) がん罹患の地域別比較によると、全部位で西部地区の罹患率が低い、これは登録の届出件数が少ないことが影響しているのかという質問があった。明言出来ないが、西部地区のDCNは35.1%で、他の地区に比べ10%以上高く、登録精度がよくないことは事実である。そのことが少なからず影響していると思われる。しかし、平成19年度より鳥取大学医学部附属病院の中にがんセンターが設置され、年間で1,200件以上の新規登録の届出があると予想されるので、西部地区の1/3はカバー出来ると思われる。よって、より正確な罹患率が出てくると期待している。

(3) 東部地区の基幹病院の届出件数が近年減少しているが、どうしてかという質問があった。以前は既登録者の重複の届出が多かったが、初回受診を対象に届出をして頂くようお願いしてからは、重複届は解消された。その結果、数値としては減少した。その後新規登録者の件数は増加しているので、登録精度としては良くなっている。

(4) がん検診評価として、がん登録データを活用して、偽陰性、特異度の解析を行うことは出来ないのか。偽陰性、特異度の解析を行うには、全検診受診者の結果が必要であり、現在、各市町村に要望しているところである。

協 議

1) 平成19年度事業計画について、以下のとおり岸本委員長より説明があり、承認された。

(1) 平成16年がん罹患・受療状況標準集計
罹患集計の結果は、医師会報、事業報告、ホームページとして公表する。

(2) がん検診の精度評価

市町村には各がん検診評価を行うためにがん検診受診者データの提出と基本健康診査の結果、問診の情報とがん罹患状況を調査し、生活習慣とがん罹患の関係を解明していくことを目的として、基本健康診査受診者データの提出をお願いしている。また、個人情報保護については、検診会場にチラシを掲示する等の包括同意を行うこととしている。

現在、鳥取県個人情報審議会へ諮問し、リンク解析については大筋で承認得ることができているので、市町村の承諾に向けて取り組んでいるところである。

県健康政策課より各市町村に意見を伺って頂いたところ、調査の重要性は理解出来る。がんと診断された者の情報提供は理解出来るが、全員のデータ提出には疑問があるようだ。

検診データは、鳥取県保健事業団では電子媒体で保管されているが、医療機関検診は紙ベースでの保管がほとんどであり、全受診者のデータ提出は市町村にとっては、大変な作業になる。また、個人情報保護については包括同意の方法をとるとのことだが、情報提供を拒否した人のデータを外す作業を行うのも、市町村としては事務が複雑になるという意見もある。

今後の対応として、以下のとおりとなった。

がん検診データの提出は、大半の市町村が理解を示して頂いているようだ。また、がん対策基本法においても、国及び地方公共団体においてはがん対策予防の研究推進の施策を講じることが謳われている。よって、市町村関係者にがん検診データとがん登録のリンク解析を行うことが、鳥取県民のがん対策予防にとって、非常に重要であることを理解して頂くことが大事であり、岸本委員長より市町村担当者会議等に出席して頂き、説明をして頂くこととなった。

基本健康診査のデータ提出については、かなり抵抗があるようである。平成20年度からは、基本健康診査は廃止され、特定健診・特定保健指導が

開始されるが、データは電子媒体での報告となるが、データの流れがどのようになるのか不明瞭なところがあるので、県健康政策課においても検討して頂くこととなった。また、各保険者の承諾を頂く必要がある。

なお、現場の理解を得るために、がん検診データの提供と基本健康診査のデータの提出は分けて説明した方がよい。

(3) 登録精度の向上のための届出勧奨、補充届出票による遡り調査、各種検診発見がんからの登録

昨年度より登録精度は改善（DCNの値が32.9%から28.3%に減少）傾向があるが、引き続き登録精度の向上をめざして、大学病院及び主要病院を対象にした届出勧奨を進める。また、平成16年死亡小票からの補充届出票による遡り調査と各種検診発見がんの未登録分の登録も行う。

(4) 電子媒体による届出システムの構築

昨今の届け出件数の増加と、基幹病院における電子カルテの導入により電子媒体による届け出の要望が聞かれるようになってきた。今年度は入力作業の省力化と登録精度の向上を期待した電子媒体による届け出システムの構築を行っているところ

であり、協力可能な13医療機関を対象にして実施する予定である。

院内がん登録と地域がん登録の標準化（登録項目の整合性・統一性）は出来ないのかという質問があったが、それぞれの歴史があり、目的も違うので今すぐは難しいと思われる。県健康政策課と今後協議していくこととなった。

(5) 平成19年度鳥取県がん登録報告書の印刷・配布

今年度は、掲載内容の見直しのため、関係協力医療機関やがん登録専門委員の意見・要望等を取り入れて、報告書の編集刷新を図っていく。

(6) 第16回地域がん登録全国協議会総会研究会（広島市）への参加

第16回地域がん登録全国協議会総会研究会が9月6日（木）、9月7日（金）に広島市南区民文化センター（会長：（財）放射線影響研究所主席 研究員 疫学部長 児玉 和紀先生）において開催される。9月6日はがん登録実務者研修会が開催され、9月7日の総会研究会では、「保健・医療と疫学研究における地域がん登録の役割」をメインテーマに開催される予定。

資料1 鳥取県がん罹患集計結果一覧表(平成15年 男性)

部 位	ICD - 10	年 齢 10 歳 階 級											粗 罹患率	調整 罹患率	H/I (%)	DCN/I (%)
		合計	0 -	10 -	20 -	30 -	40 -	50 -	60 -	70 -	80 +	不詳				
全部位*1	C00 - C96 D05 - D06 (140 - 208 2330 - 2331)	1997	2	2	8	13	65	275	479	773	380	0	683.4	415.9	60.8	26.6
全部位*2	C00 - C96 (140 - 208)	1997	2	2	8	13	65	275	479	773	380	0	683.4	415.9	60.8	26.6
口唇、口腔および咽頭	C00 - C14 (140 - 149)	32	0	0	0	1	1	7	10	7	6	0	11.0	7.4	75.0	21.9
口唇、口腔	C00 - C08 (140 - 145)	14	0	0	0	1	1	3	6	3	0	0	4.8	3.6	85.7	14.3
咽頭	C09 - C14 (146 - 149)	18	0	0	0	0	0	4	4	4	6	0	6.2	3.8	66.7	27.8
食道	C15 (150)	69	0	0	0	0	2	17	16	25	9	0	23.6	15.0	65.2	26.1
胃	C16 (151)	437	0	0	0	2	15	66	126	156	72	0	149.6	91.9	78.0	15.1
小腸	C17 (152)	5	0	0	0	0	2	0	2	1	0	0	1.7	1.0	60.0	0.0
結腸	C18 (153)	191	0	0	0	1	3	27	41	75	44	0	65.4	38.8	69.1	19.9
直腸および肛門	C19 - C21 (154)	117	0	0	0	1	9	24	37	38	8	0	40.0	27.2	79.5	15.4
肝および肝内胆管	C22 (155)	153	0	0	0	0	7	31	44	47	24	0	52.4	33.7	13.1	39.2
胆嚢および肝外胆管	C23 - C24 (156)	47	0	0	0	1	0	3	13	20	10	0	16.1	9.4	14.9	46.8
膵臓	C25 (157)	90	0	0	0	0	2	16	22	32	18	0	30.8	18.6	16.7	42.2
その他の消化器	C26 (159)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.3	0.2	100.0	0.0
鼻腔、中耳および副鼻腔	C30 - C31 (160)	7	0	0	0	1	0	3	1	0	2	0	2.4	1.8	57.1	42.9
喉頭	C32 (161)	22	0	0	1	0	0	3	7	10	1	0	7.5	4.8	81.8	13.6
気管、気管支および肺	C33 - C34 (162)	323	0	0	0	1	11	32	55	150	74	0	110.5	63.6	55.1	35.6
胸腺、心および縦隔	C37 - C38 (164)	4	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	1.4	1.0	50.0	0.0
その他の呼吸系および胸腔内臓器	C39 (165)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨および関節軟骨	C40 - C41 (170)	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0.7	0.6	50.0	50.0
皮膚の悪性黒色腫	C43 (172)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3	0.2	0.0	0.0
皮膚のその他の悪性新生物	C44 (173)	13	0	0	1	0	0	0	3	4	5	0	4.4	2.7	76.9	23.1
胸膜	C45 (163)	3	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1.0	0.6	66.7	33.3
カボジ肉腫	C46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
後腹膜および腹膜	C48 (158)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.3	0.1	0.0	0.0
結合組織およびその他の軟部組織	C47 C49 (171)	5	0	1	0	2	0	0	0	0	2	0	1.7	1.5	40.0	60.0
乳房(上皮内がんを含む)	C50 D05 (174 - 175 2330)	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1.0	0.6	66.7	0.0
子宮(上皮内がんを含む)	C53 - C55 D06 (179 - 180 182 2331)															
子宮	C53 - C55 (179 - 180 182)															
子宮頸	C53 (180)															
子宮体	C54 (182)															
子宮、部位不明	C55 (179)															
卵巣	C56 (1830)															
その他及び部位不明の女性生殖器	C51 - C52 C57 (183 - 184 1830は除く)															
胎盤	C58 (181)															
前立腺	C61 (185)	214	0	0	0	0	2	7	48	106	51	0	73.2	40.0	76.6	19.6
睾丸	C62 (186)	4	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1.4	1.2	100.0	0.0
陰茎およびその他の男性生殖器	C60 C63 (187)	4	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1.4	0.8	50.0	50.0
腎など	C64 - C66 C68 (189)	43	0	0	0	0	1	5	13	18	6	0	14.7	8.6	53.5	34.9
腎臓、腎盂を除く	C64 (1890)	22	0	0	0	0	0	2	6	10	4	0	7.5	4.2	40.9	45.5
膀胱	C67 (188)	78	0	0	0	0	2	17	6	36	17	0	26.7	15.4	80.8	15.4
眼	C69 (190)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳など	C70 - C72 (191 - 192)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.8	3.3	42.9	50.0
脳	C71 (191)	14	0	0	1	0	1	3	2	6	1	0	4.8	3.3	42.9	50.0
髄膜およびその他の中枢神経系	C70 C72 (192)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
甲状腺	C73 (193)	5	0	0	0	0	1	2	1	0	1	0	1.7	1.3	100.0	0.0
その他の内分泌腺	C74 - C75 (194)	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0.7	0.5	50.0	50.0
その他および不明確な部位	C76 (195)	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.3	0.3	0.0	100.0
続発部位および原発部位不詳	C77 - C80 (196 - 199)	13	0	0	0	0	1	3	1	6	2	0	4.4	2.8	53.8	46.2
リンパ組織	C81 - C90 C96 (200 - 203)	53	2	0	2	2	4	3	8	17	16	0	18.1	11.7	45.3	50.9
ホジキンリンパ腫	C81 (201)	3	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1.0	0.9	100.0	0.0
非ホジキンリンパ腫	C82 - C85 (200)	36	1	0	2	2	3	1	6	10	11	0	12.3	8.3	50.0	44.4
その他のリンパ組織	C96 (202)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
多発性骨髄腫	C88 - C90 (203)	14	0	0	0	0	0	1	2	6	5	0	4.8	2.6	21.4	78.6
白血病	C91 - C95 (204 - 208)	40	1	0	2	0	2	4	14	13	4	0	13.7	9.3	37.5	57.5
リンパ性白血病	C91 (204)	10	0	0	1	0	1	0	5	3	0	0	3.4	2.6	40.0	60.0
骨髄性白血病	C92 (205)	24	0	0	0	0	1	4	8	8	3	0	8.2	5.1	33.3	62.5
単球性白血病	C93 (206)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.4	100.0	0.0
その他の明示された白血病	C94 (207)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
細胞形態不明の白血病	C95 (208)	5	1	0	0	0	0	0	1	2	1	0	1.7	1.2	40.0	40.0

*1: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含む *2: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含まない
I: 罹患数 H: 組織診実施数 DCN: 死亡情報で初めて把握されたもの

資料2 鳥取県がん罹患集計結果一覧表(平成15年 女性)

部 位	ICD - 10	年 齢 10 歳 階 級											粗 罹患率	調整 罹患率	H / I (%)	DCN / I (%)
		合計	0 -	10 -	20 -	30 -	40 -	50 -	60 -	70 -	80 +	不詳				
全部位*1	C00 - C96 D05 - D06 (140 - 208 2330 - 2331)	1441	0	1	11	44	87	183	253	428	431	3	451.9	239.8	57.0	30.7
全部位*2	C00 - C96 (140 - 208)	1422	0	1	11	39	78	179	252	428	431	3	446.0	232.8	56.4	31.1
口唇、口腔および咽頭	C00 - C14 (140 - 149)	8	0	0	0	0	1	0	2	3	2	0	2.5	1.3	37.5	50.0
口唇、口腔	C00 - C08 (140 - 145)	4	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1.3	0.4	25.0	75.0
咽頭	C09 - C14 (146 - 149)	4	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	1.3	0.9	50.0	25.0
食道	C15 (150)	15	0	0	0	0	2	3	3	1	6	0	4.7	2.7	46.7	33.3
胃	C16 (151)	240	0	0	0	4	12	22	43	78	79	2	75.3	35.2	69.2	23.8
小腸	C17 (152)	6	0	0	0	0	0	1	2	1	2	0	1.9	0.9	33.3	50.0
結腸	C18 (153)	188	0	0	0	2	3	18	29	72	63	1	59.0	25.7	60.1	28.7
直腸および肛門	C19 - C21 (154)	79	0	0	0	0	4	16	18	20	21	0	24.8	13.6	64.6	24.1
肝および肝内胆管	C22 (155)	90	0	0	0	0	1	5	17	36	31	0	28.2	11.6	12.2	42.2
胆嚢および肝外胆管	C23 - C24 (156)	52	0	0	0	0	0	0	7	14	31	0	16.3	5.3	19.2	51.9
脾臓	C25 (157)	67	0	0	0	1	2	6	7	21	30	0	21.0	8.6	11.9	55.2
その他の消化器	C26 (159)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
鼻腔、中耳および副鼻腔	C30 - C31 (160)	5	0	0	0	0	0	2	0	2	1	0	1.6	0.8	60.0	40.0
喉頭	C32 (161)	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.3	0.4	100.0	0.0
気管、気管支および肺	C33 - C34 (162)	136	0	0	0	1	2	8	33	44	48	0	42.7	18.8	49.3	36.8
胸腺、心および縦隔	C37 - C38 (164)	4	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	1.3	0.8	50.0	50.0
その他の呼吸系および胸腔内臓器	C39 (165)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨および関節軟骨	C40 - C41 (170)	3	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0.9	0.7	0.0	66.7
皮膚の悪性黒色腫	C43 (172)	4	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1.3	0.4	25.0	75.0
皮膚のその他の悪性新生物	C44 (173)	11	0	0	0	0	0	0	1	4	6	0	3.4	1.1	90.9	9.1
胸膜	C45 (163)	4	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1.3	0.6	0.0	100.0
カポジ肉腫	C46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
後腹膜および腹膜	C48 (158)	3	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0.9	0.5	66.7	33.3
結合組織およびその他の軟部組織	C47 C49 (171)	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.3	0.2	100.0	0.0
乳房(上皮内がんを含む)	C50 D05 (174 - 175 2330)	151	0	0	0	7	28	43	36	22	15	0	47.4	36.6	87.4	9.3
子宮(上皮内がんを含む)	C53 - C55 D06 (179 - 180 182 2331)	126	0	0	6	22	20	30	18	19	11	0	39.5	35.1	84.9	12.0
子宮	C53 - C55 (179 - 180 182)	107	0	0	6	17	11	26	17	19	11	0	33.6	28.1	82.2	14.2
子宮頸	C53 (180)	65	0	0	6	16	9	13	4	9	8	0	20.4	19.1	87.7	10.8
子宮体	C54 (182)	36	0	0	0	1	2	12	13	8	0	0	11.3	8.3	86.1	8.3
子宮、部位不明	C55 (179)	6	0	0	0	0	0	1	0	2	3	0	1.9	0.8	0.0	83.3
卵巣	C56 (1830)	43	0	0	2	2	2	12	7	12	6	0	13.5	9.2	60.5	32.6
その他及び部位不明の女性生殖器	C51 - C52 C57 (183 - 184 1830は除く)	7	0	0	0	1	0	0	1	1	4	0	2.2	1.0	85.7	14.3
胎盤	C58 (181)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
前立腺	C61 (185)															
睾丸	C62 (186)															
陰茎およびその他の男性生殖器	C60 C63 (187)															
腎など	C64 - C66 C68 (189)	24	0	0	0	0	0	2	4	8	10	0	7.5	3.0	45.8	37.5
腎臓、腎盂を除く	C64 (1890)	15	0	0	0	0	0	1	4	4	6	0	4.7	2.0	40.0	40.0
膀胱	C67 (188)	29	0	0	0	0	0	1	1	11	16	0	9.1	2.8	58.6	27.6
眼	C69 (190)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳など	C70 - C72 (191 - 192)	12	0	0	0	1	0	0	3	3	5	0	3.8	1.8	50.0	33.3
脳	C71 (191)	12	0	0	0	1	0	0	3	3	5	0	3.8	1.8	50.0	33.3
髄膜およびその他の中枢神経系	C70 C72 (192)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
甲状腺	C73 (193)	26	0	0	0	1	6	4	3	8	4	0	8.2	5.7	73.1	19.2
その他の内分泌腺	C74 - C75 (194)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他および不明確な部位	C76 (195)	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.3	0.2	100.0	0.0
続発部位および原発部位不詳	C77 - C80 (196 - 199)	18	0	0	1	1	0	0	1	6	9	0	5.6	2.4	11.1	83.3
リンパ組織	C81 - C90 C96 (200 - 203)	67	0	0	1	0	1	3	10	29	23	0	21.0	9.0	44.8	50.7
ホジキンリンパ腫	C81 (201)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
非ホジキンリンパ腫	C82 - C85 (200)	38	0	0	1	0	1	3	5	17	11	0	11.9	5.8	60.5	36.8
その他のリンパ組織	C96 (202)	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0.6	0.3	100.0	0.0
多発性骨髄腫	C88 - C90 (203)	27	0	0	0	0	0	0	4	11	12	0	8.5	3.0	18.5	74.1
白血病	C91 - C95 (204 - 208)	20	0	0	1	1	2	3	3	5	5	0	6.3	3.7	30.0	70.0
リンパ性白血病	C91 (204)	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0.9	0.4	0.0	100.0
骨髄性白血病	C92 (205)	16	0	0	1	1	2	3	2	3	4	0	5.0	3.3	37.5	62.5
単球性白血病	C93 (206)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の明示された白血病	C94 (207)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
細胞形態不明の白血病	C95 (208)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3	0.1	0.0	100.0

*1: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含む *2: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含まない
I: 罹患数 H: 組織診実施数 DCN: 死亡情報で初めて把握されたもの

資料3 鳥取県がん罹患集計結果一覧表(平成15年 総数)

部 位	ICD - 10	年 齢 10 歳 階 級											粗 罹患率	調整 罹患率	H/I (%)	DCN/I (%)
		合計	0 -	10 -	20 -	30 -	40 -	50 -	60 -	70 -	80 +	不詳				
全部位*1	C00 - C96 D05 - D06 (140 - 208 2330 - 2331)	3438	2	3	19	57	152	458	732	1201	811	3	562.6	312.7	59.2	28.3
全部位*2	C00 - C96 (140 - 208)	3419	2	3	19	52	143	454	731	1201	811	3	559.5	309.1	59.0	28.5
口唇、口腔および咽頭	C00 - C14 (140 - 149)	40	0	0	0	1	2	7	12	10	8	0	6.5	4.0	67.5	27.5
口唇、口腔	C00 - C08 (140 - 145)	18	0	0	0	1	1	3	6	5	2	0	2.9	1.9	72.2	27.8
咽頭	C09 - C14 (146 - 149)	22	0	0	0	0	1	4	6	5	6	0	3.6	2.1	63.6	27.3
食道	C15 (150)	84	0	0	0	0	4	20	19	26	15	0	13.7	8.2	61.9	27.4
胃	C16 (151)	677	0	0	0	6	27	88	169	234	151	2	110.8	60.2	74.9	18.2
小腸	C17 (152)	11	0	0	0	0	0	3	2	3	3	0	1.8	0.9	45.5	27.3
結腸	C18 (153)	379	0	0	0	3	6	45	70	147	107	1	62.0	31.2	64.6	24.3
直腸および肛門	C19 - C21 (154)	196	0	0	0	1	13	40	55	58	29	0	32.1	19.9	73.5	18.9
肝および肝内胆管	C22 (155)	243	0	0	0	0	8	36	61	83	55	0	39.8	21.8	12.8	40.3
胆嚢および肝外胆管	C23 - C24 (156)	99	0	0	0	1	0	3	20	34	41	0	16.2	7.3	17.2	49.5
膵臓	C25 (157)	157	0	0	0	1	4	22	29	53	48	0	25.7	13.0	14.6	47.8
その他の消化器	C26 (159)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.2	0.1	100.0	0.0
鼻腔、中耳および副鼻腔	C30 - C31 (160)	12	0	0	0	1	0	5	1	2	3	0	2.0	1.3	58.3	41.7
喉頭	C32 (161)	23	0	0	1	0	1	3	7	10	1	0	3.8	2.4	82.6	13.0
気管、気管支および肺	C33 - C34 (162)	459	0	0	0	2	13	40	88	194	122	0	75.1	37.6	53.4	35.9
胸腺、心および縦隔	C37 - C38 (164)	8	0	0	0	0	1	2	3	1	1	0	1.3	0.9	50.0	25.0
その他の呼吸系および胸腔内臓器	C39 (165)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨および関節軟骨	C40 - C41 (170)	5	0	2	0	0	0	0	2	0	1	0	0.8	0.7	20.0	60.0
皮膚の悪性黒色腫	C43 (172)	5	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0.8	0.3	20.0	60.0
皮膚のその他の悪性新生物	C44 (173)	24	0	0	1	0	0	0	4	8	11	0	3.9	1.8	83.3	16.7
胸膜	C45 (163)	7	0	0	0	0	0	1	1	3	2	0	1.1	0.6	28.6	71.4
カボジ肉腫	C46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
後腹膜および腹膜	C48 (158)	4	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0.7	0.3	50.0	25.0
結合組織およびその他の軟部組織	C47 C49 (171)	6	0	1	0	2	0	0	1	0	2	0	1.0	0.8	50.0	25.0
乳房(上皮内がんを含む)	C50 D05 (174 - 175 2330)	154	0	0	0	7	28	43	37	23	16	0	25.2	19.2	87.0	9.1
子宮(上皮内がんを含む)	C53 - C55 D06 (179 - 180 182 2331)	126	0	0	6	22	20	30	18	19	11	0	20.6	18.0	84.9	12.0
子宮	C53 - C55 (179 - 180 182)	107	0	0	6	17	11	26	17	19	11	0	17.5	14.5	82.2	14.2
子宮頸	C53 (180)	65	0	0	6	16	9	13	4	9	8	0	10.6	9.7	87.7	10.8
子宮体	C54 (182)	36	0	0	0	1	2	12	13	8	0	0	5.9	4.3	86.1	8.3
子宮、部位不明	C55 (179)	6	0	0	0	0	0	1	0	2	3	0	1.0	0.4	0.0	83.3
卵巣	C56 (1830)	43	0	0	2	2	2	12	7	12	6	0	7.0	4.8	60.5	32.6
その他及び部位不明の女性生殖器	C51 - C52 C57 (183 - 184 1830は除く)	7	0	0	0	1	0	0	1	1	4	0	1.1	0.6	85.7	14.3
胎盤	C58 (181)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
前立腺	C61 (185)	214	0	0	0	0	2	7	48	106	51	0	35.0	16.4	76.6	19.6
睾丸	C62 (186)	4	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0.7	0.6	100.0	0.0
陰茎およびその他の男性生殖器	C60 C63 (187)	4	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0.7	0.3	50.0	50.0
腎など	C64 - C66 C68 (189)	67	0	0	0	0	1	7	17	26	16	0	11.0	5.5	50.7	35.8
腎臓、腎盂を除く	C64 (1890)	37	0	0	0	0	0	3	10	14	10	0	6.1	2.9	40.5	43.2
膀胱	C67 (188)	107	0	0	0	0	2	18	7	47	33	0	17.5	8.4	74.8	18.7
眼	C69 (190)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳など	C70 - C72 (191 - 192)	26	0	0	1	1	1	3	5	9	6	0	4.3	2.5	46.2	42.3
脳	C71 (191)	26	0	0	1	1	1	3	5	9	6	0	4.3	2.5	46.2	42.3
髄膜およびその他の中枢神経系	C70 C72 (192)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
甲状腺	C73 (193)	31	0	0	0	1	7	6	4	8	5	0	5.1	3.6	77.4	16.1
その他の内分泌腺	C74 - C75 (194)	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0.3	0.2	50.0	50.0
その他および不明確な部位	C76 (195)	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0.3	0.3	50.0	50.0
続発部位および原発部位不詳	C77 - C80 (196 - 199)	31	0	0	1	1	1	3	2	12	11	0	5.1	2.6	29.0	67.7
リンパ組織	C81 - C90 C96 (200 - 203)	120	1	0	3	2	5	6	18	46	39	0	19.6	10.2	45.0	50.8
ホジキンリンパ腫	C81 (201)	3	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0.5	0.4	100.0	0.0
非ホジキンリンパ腫	C82 - C85 (200)	74	1	0	3	2	4	4	11	27	22	0	12.1	6.8	55.4	40.5
その他のリンパ組織	C96 (202)	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0.3	0.2	100.0	0.0
多発性骨髄腫	C88 - C90 (203)	41	0	0	0	0	0	1	6	17	17	0	6.7	2.8	19.5	75.6
白血病	C91 - C95 (204 - 208)	60	1	0	3	1	4	7	17	18	9	0	9.8	6.2	35.0	61.7
リンパ性白血病	C91 (204)	13	0	0	1	0	1	0	6	4	1	0	2.1	1.4	30.8	69.2
骨髄性白血病	C92 (205)	40	0	0	1	1	3	7	10	11	7	0	6.5	4.0	35.0	62.5
単球性白血病	C93 (206)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.2	100.0	0.0
その他の明示された白血病	C94 (207)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
細胞形態不明の白血病	C95 (208)	6	1	0	0	0	0	0	1	3	1	0	1.0	0.6	33.3	50.0

*1: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含む *2: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含まない
I: 罹患数 H: 組織診実施数 DCN: 死亡情報で初めて把握されたもの